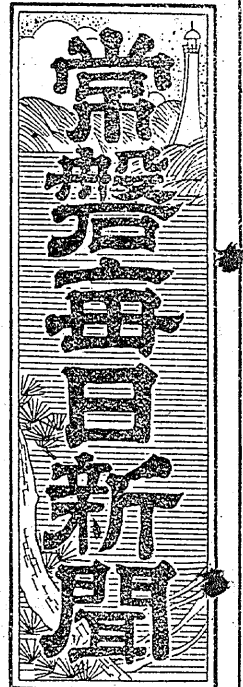


刊夕日七廿月一十



定価 一部全紙一六銭五分 五部全紙一五銭五分  
 廣告料 五部全紙一十二銭五分 行金五部全紙  
 日曜祭日の翌日休刊  
 発行所 常磐毎日新聞社  
 印刷所 常磐毎日新聞印刷株式会社

### 救護法に就て

平町共済會委員 門傳清吾

其申請書式手續等は別に規定がないから如何なる救護施設であるか又其設置の目的を達する爲めには如何なる設備であるかを明白にして願出づれば宜しいと思ふ。然し夫れは後日縣會で便宜上指示せらるゝかと思ふ。但此場合関連事項として附加して置き度いのは、右第七條、第二號の一人の救護施設に對しては免税の特典がある、それは本法第三十一條に規定せられてある施設の目的から見て當然の特典であらう、けれども注意を要するのは其施設の爲めにする院長とか事務員其他職員等の住宅等には免税の特典は與へられぬ又一棟の建物中一方のみ救護の施設する時は其部分に限り免税せらるゝ事になるのである。

次に私人の救護施設は市町村長が救護の爲め行ふ委託を拒むことを得ない事になつて居る、是亦救護機關たる性質上當然の規定である、免税の特典を受けながら之を拒む事を得るとしたならば不正なる私人の爲めに悪用せらるゝ弊害があるからである、然しながら委託に伴ふ必要費は其範圍に於て支給せらるゝ可きは勿論である。

第八條 前條第二項の規定に依り設置したる救護機關は市町村長が救護の爲行ふ委託を拒むことを得ず

とあり前述の説明で盡きてと思ふ。

第九條は右救護施設の設置管理、廢止、其他救護施設に必要な事項に付ては別に命令を以て定めることになつて居る、別段説明は要さなから省略する

第四章 救護の種類及方法

救護の種類及方法に付ては第十條に規定してある即ち第十條 救護の種類左の如し

- 一、生活扶助
- 二、醫療
- 三、助産
- 四、生産扶助

前項各號の救護の範圍種類及方法は勅令を以て之を定む

とある以下第十條の種類別に從ひ異説する事とする

#### 第一生活扶助

生活の救助は第一條の被救護者に對する生活を救助することにあり一人一日金銭にして幾何を給與するを適當とすべきは可なり面倒な問題である様に承知して居るそれは一人一人は一日幾何を以て生活し得るか知らねばならぬからである。



#### 雑詠

大竹秋平

遠近の山はいつしか秋すぎ  
 て木葉落ちて冬ぞ來にけり  
 見渡せば赤枯深き草なくに  
 弱り果てたる虫の聲する  
 山の邊にたちながむれば野  
 は枯れて一筋長し青き川か  
 な  
 さしのぼる朝日を仰ぎ今日  
 の日を幸あれかしと神に祈  
 れる  
 いとせめて夢だに見んと願  
 ふ身に夢なくあけし夜のう  
 らめしき  
 歩みつかれ緑の下に身をよ  
 せて海を評すも甘醉が岡

### 貸切の●●●

御用命は？

獅子吼(四四九)ノ勢デ

眞先ニ……………(マツサキ)

三九二タクシーへ!!!

### 外務社員招聘

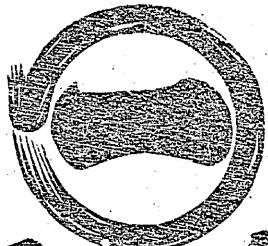
経験の有無に不拘ず  
 奮闘家を望む  
 希望者は履歴書持參御來談を乞ふ  
 ◎内職にても差支へなし

### 命 生 德 福

平町一丁目  
 代理店主幹 比佐信太郎

### ■ 産名城磐 ■

らか鹽と節鯉



魚問屋

店理代平命生本日大最優最  
 榮盛賀志  
 番三一電 目丁四平

### 耳鼻咽喉科専門

氣管食道科

大和田醫院

平南町(電話一七〇番)

### 冬服極心

紺色柄物……………三ッ揃……………拾貳圓  
 最新柄……………三ッ揃……………拾三圓五十錢  
 スコッチ……………三ッ揃……………拾六圓五十錢  
 最上紺……………三ッ揃……………拾九圓  
 サージ……………三ッ揃……………拾九圓  
 高級品……………三ッ揃……………拾九圓  
 ツリメット……………三ッ揃……………拾九圓

平町正札堂洋服店 電話四三六

### 高久病院

院長 醫學士 高久 忠  
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清  
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄  
 平町田町 電話五一三番

内科小兒科 外科花柳病科  
 耳鼻咽喉科 レントゲン科

りよ日七十二月一十

### 館名改稱(御披露二回目)特別大興行

東活キネマ超特作時代映畫  
**御場段切異變**  
 尾上菊太郎主演

東活キネマ超特作現代映畫  
**池畔の微笑**  
 青木繁・小川國松・川島奈美  
 子・小川雪子・宮城直枝共演

帝キネ超特作映畫  
**鐵血三羽鳥**  
 結城重三郎主演

◆當館が月一回を誇る名畫週間!!!  
 ◆果て次週は何が出る?乞御期待

——館開夜晝曜日・曜土——  
 番六四四電 館界世

# 石城郡出身 兵慰問金品募集に

## 平町各團體が總動員 愈よ明日から大運動開始 舉町一致の赤誠を披歴す

風凍る滿洲の野に租國を背負つて惡戰苦闘する本郡出身の將兵を慰問し其の勞の萬分の一に酬えんと平青年團が主唱となり平町の各團體を糾合し大々的に慰問金品募集を開始する舉町一致の大運動は愈々明日から各團體員總動員を以つて開始される、金銭は十錢以上、又物品は左記の品々を

毛布、シヤツ類、ズボン類、サルマタ、手袋、靴下、眞綿、防寒具類、白ネル又ハサラシ太物、手拭、ハンカチーフ、石鹼、ハミガキ、揚子、仁丹類、寫眞、繪ハガキ、便箋、ペン、鉛筆、藥品類(防寒用)キヤラメル、氷砂糖、ドロツブ類、ソノ他喜んで取扱ふとの事であり是等の金品寄贈は來月十日を以つて締切り一括して滿洲に向け發送、郷黨人の赤誠を披歴する由である、因に募集主意書左記の如くである

氏外一名を銃殺し、降つて九月中旬北大營附近の我鐵道を爆破し、尙且、我が鐵道守備隊を襲撃しその排日、侮日の度は益々加度的に全支那に増大しつゝある状態であります。滿洲の地は今更申す迄もなく日清、日露の兩大戦に巨万の富と精靈を犠牲として得たところの日本帝國の生命線であります。將に滿蒙の地は侵害され東洋の平和は攪亂されんとしてあります。皇軍はこの時正當防衛の故を以つて猛然憤起し東洋平和の確立と權益擁護の重任に當り大なる犠牲を拂ひ困苦と闘ひ現地を死守しつゝあるのであり

以上如く收容所の検査は移民に對しては實に生死の境にある重大事に御座候、入所中は實に忙がしく、朝五時起床、室内の掃除、六時より國民体操、七時迄に朝食、八時より講話及び豫

ところを諒せられ應分の御援助を賜はられんことを懇願致します。

平町役場  
平町各區長  
平婦人會  
愛國婦人會平分會  
平消防組  
在郷軍人會平分會  
平町女子青年團  
平町青年團

平町から一筆啓上  
途中から一筆啓上  
佐藤武雄

### 五錢宛據金

縣立警城中學校の全生徒は滿洲兵慰問義捐金として一人五錢宛據金し卅日關東軍司令部宛に送金する事になつた

### 警中からも

警城中學校の全生徒は滿洲兵慰問義捐金として一人五錢宛據金し卅日關東軍司令部宛に送金する事になつた

### 警女生義金

警城高等女學校四年の正副級長は滿洲守備隊慰問」と記した箱を置いて生徒から義捐金を募るべく自發的に計劃し木村校長の賛成を得たので廿四日からこれを設

### 小包と現金

本日平警察署へ苦寒の滿洲で活躍する我軍へと石城郡江名町字中ノ作の有志から現金五圓八十錢と小包一ヶを贈呈したので直に平署では滿洲へ發送したが是贈呈者は左の十四名である

### 武運長久

石城郡好間村第二青年團員八十名は昨廿六日赤井嶽藥師に登山在滿兵の武運長久を祈り同藥師の御札二十枚を第二師團司令部宛に發送した

### 小包と現金

本日平警察署へ苦寒の滿洲で活躍する我軍へと石城郡江名町字中ノ作の有志から現金五圓八十錢と小包一ヶを贈呈したので直に平署では滿洲へ發送したが是贈呈者は左の十四名である

### 安齊醫師寄贈

田町安齊外科醫院長は本日町役場へ滿洲に悩む負傷兵にと繃帯百四十本及び五十ヶ入り煙草一箱を寄贈した

### 入營兵に防寒具

石城郡平窪村青年團では今年度入營兵左記八名の送別會を、廿七日正午より同村小學校に開催來會者二百餘

### 農具競技

本日平町に開催された本縣主催動力農具競技會に於て左記實行組合が入賞し褒狀授與さる

### 夏井川の川魚漁獲高

平町役場の調査に依る夏井川の川魚採取從事者の數は約百名に達して居るが是等は大部分個人的營業を行つて居り近く河川漁業者組合を組織すべく運動中であるが夏井川に於ける四年度及び五年度の合計漁獲高を見ると左の如くである

### 滿洲に向ふ

本郡 出身 女性 救護看護婦の 澁谷いとさん

### 平町人事

△田町三三當時石城郡好間村大字北好間字堂田 清野吉松(六二)

### 鹿島村にも

石城郡鹿島村では廿八日午前九時から村會を開き自作農創設資金借入れについて附議する

### 往來

△井上縣議 廿六日午後八時五十分歸平  
△山崎吉平氏 同三時十一分東京より歸平  
△大嶺、山野邊、増田、安藤各辯護士 同六時二十二分福島より歸平  
△安齊辯護士 廿七日午前五時四十二分福島行  
△伏見平町長 同八時三分若松より歸平

### 平町人事

△田町三三當時石城郡好間村大字北好間字堂田 清野吉松(六二)

### 回死

△田町三三當時石城郡好間村大字北好間字堂田 清野吉松(六二)

# 戦友の霊の前 涙のパツラ

## 失明の戸田君に 現實よ、悲し!

### 江名町葬の生む一哀詩

#### 氣丈な父君に勵まされ 水ごりをとり神に祈願

悲風弔旗に冷たく英霊と  
はに眠る日、過ぐる廿四日  
の江名町葬にて行はれた中  
田伍長の告別式に嘯々とし  
て吹奏されたラツパの音に  
今は悲しき友情を籠めて會  
葬者の袂を絞らしめた哀話  
がある——このラツパを  
吹いた人こそ今年一月中田  
七藏君と共に若松廿九聯隊  
に入營した江名町一等兵戸  
田徳次郎(三)君であるが戸  
田君と中田君は小學校時代  
から竹馬の友で適齡後は同  
聯隊に入營し直ちに満洲守  
備隊として派遣されたが渡  
滿後は一本の蓑も二人で分  
けて喫む程の親密の間柄で  
あつた

然し先にも二人は何の  
語る言葉もなく只々涙と共  
に廣島驛で別れる日も近づ  
いて居たが八月七日中田君  
は「戸田君の分まで御國の  
ため奉公するから君は心置  
きななく歸國してくれ」と力  
を添へ二人は其儘永久に生  
きて會はれぬ運命にあつた  
も知らずに西と東に別れを  
告げたのだつた戸田君は失  
明の身を淋しく故郷江名町  
に靜養してゐるうち平田聯  
隊長を初め戦友殊に中田君  
からも絶えず書信があつて  
遂に過ぐる九月満洲事變起  
ると知るや同君は遙かに中  
田君の武運長久を祈つてゐ  
たに嗚呼今はその甲斐なく  
八月の訣別も遂に永久の別  
れとなつて夏去り秋過ぎ烈  
風肌を刺す極寒を迎へた約

父君徳藏氏の手紙の一節で  
ある  
——名譽の負傷をして歸  
つて来たのでありますから  
父は非常に喜んで居り  
ます、私も日本男兒です  
徳次郎一人位は、死ぬま  
で苦勞をかけずに養つて  
行きます、他事乍ら聯隊  
長様始め皆様には御懸念  
下さらぬ様お願ひ致しま  
す

更らにいま悲しみの人戸  
田君は極寒の中に苦闘する  
戦友の身を思つて日夜水ご  
りをとりその安泰をば神か  
け祈りつゞけて居るといふ  
候

然るに戸田君は奉天附近  
に於ける演習に際し今年七  
月廿五日一戦友の過失から  
ピストルのため両眼に傷を  
受けて失明した爲只一人幾  
多の戦友に別れを告げて八  
月七日悄然と衛戍病院  
に入院し兩眼摘出の大手術  
を受け遂に失明して兵役免  
除となり歸國のやむなきに  
至り奉天驛まで見送りに出  
た平田聯隊長を初め將卒戦  
友と固き握手を交し「皆さ

此の一篇の哀詩を誦する  
に當つて想起するのは本紙  
が當時處報した聯隊長が戸  
田君の家に寄せたに對する

父君徳藏氏の手紙の一節で  
ある  
——名譽の負傷をして歸  
つて来たのでありますから  
父は非常に喜んで居り  
ます、私も日本男兒です  
徳次郎一人位は、死ぬま  
で苦勞をかけずに養つて  
行きます、他事乍ら聯隊  
長様始め皆様には御懸念  
下さらぬ様お願ひ致しま  
す

更らにいま悲しみの人戸  
田君は極寒の中に苦闘する  
戦友の身を思つて日夜水ご  
りをとりその安泰をば神か  
け祈りつゞけて居るといふ  
候

愚圖ついである昨今の天候  
につき小名濱測候所は本日  
左の如く發表した

北滿洲と小笠原島との高  
氣壓に挟まれて全國的に  
低氣壓の谷をなし當地方  
も一兩日はこのためにさ  
つぱりした天氣にはなら  
ない、それがため氣候も  
遅れ勝ちで例年に比し初  
霜は二日初氷は五日遅れ  
初雪はまたない、今日ま  
で既に三日遅れてゐる寒  
氣も昨年に比し餘ほど暖  
いやうである

波浪高く 小名濱町  
縣水産試  
驗場發表  
漁況不振 盛原丸(江名町)東經百五  
の廿五日の漁況に依ると

明日の天気  
報豫氣天  
今晩も明日も北  
西の風晴れたり  
曇つたり

今晚の部  
後六、〇〇 お伽漫談「落  
ちない話」古川緑波  
後七、三〇 在滿軍隊慰安  
の夕一、挨拶 安田郷輔  
後九、四〇 時報 全國ニ  
ユース 氣象通報

明日の部  
前九、一〇 料理献立「サ  
ーデンオプマズブーアケ  
チャップ」中村康子  
前一〇、三〇 家庭講座  
「運動生理學の一斷面」醫  
學博士久保盛徳  
後〇、〇五 新日本音樂  
伊藤松超外

後二、五〇 運動競技「明  
立ラグビー」試合状況  
後六、〇〇 子供の時間  
童話劇「青い鳥」東京放送  
童話劇協會  
後六、三〇 英語講座「中  
等科、第六講の三」上井  
磯吉  
後七、三〇 講演「大平洋  
會議の側面觀」齊藤惣一  
後八、〇〇 漫談「渡世樂」  
立花實  
後八、三〇 ハーモニカ合  
奏と獨奏 川口ハーモニ  
カ合奏團  
後九、〇〇 浪花節一伊達  
安藝一浪花亭綾太郎

勿來校地競賣 勿來  
町では元小學校敷地(千二  
百坪)を今廿七日公賣に附  
する事に決定したが右敷地  
は三年前より賣却する事に  
なつてゐたのが議員間の暗  
流等で今日まで延びつゞに  
なつたので價格も又半値と  
なつてゐる

空襲視心懲役三年 石城  
郡草野村大字下神谷字鹽野  
一六八崙山平重郎方へ家人  
の不在を奇貨として忍入り  
衣類數点(時價三圓餘)を窃  
取逃走した外郡内各地に於  
いて空襲竊盜廿三件を働い  
て平署に檢舉された窃盜犯  
人石城郡神谷村大字中神谷  
字瀬戸生れ常時住所不定鈴  
木伊助(三)は平區裁判所に  
於て廿五日懲役三年の言渡  
さる

金馬簾授與 五消防組へ  
平署管内左記消防組は夫々  
功績にて金馬簾を授與され  
ると  
小名濱、湯本、内郷、江  
名、永戸

北目行政區  
獨立祝賀  
秋葉神社遷宮を兼ね  
滿一ヶ年目に  
平町廿七區北目町は區勢の  
膨張に依つて昨年十二月廿  
二日胡摩澤と行政區を分離  
獨立した爲め滿一ヶ年目に  
當る來月廿二日には同區鎮  
守の秋葉神社落成遷宮式を  
兼ねて祝賀會を催す由

平窪兒童作品 石城  
郡平窪村小學校兒童作品展  
覽會は廿七日から三日間同  
校に開催父兄の參觀を歓迎  
すると

消防秋季檢閱 石城  
郡赤井、高久、飯野各村消  
防組では今廿七日各村小學  
校に於いて秋期消防檢閱を  
行つたので平署矢田部長が  
臨席したと

救護法打合 町村吏員が  
既報救護法施行準備の爲め  
石城郡下各町村吏員は本日  
午前九時より平町第三小學  
校に集合打合せ會を行つた

平窪兒童作品 石城  
郡平窪村小學校兒童作品展  
覽會は廿七日から三日間同  
校に開催父兄の參觀を歓迎  
すると

消防秋季檢閱 石城  
郡赤井、高久、飯野各村消  
防組では今廿七日各村小學  
校に於いて秋期消防檢閱を  
行つたので平署矢田部長が  
臨席したと

波浪高く 小名濱町  
縣水産試  
驗場發表  
漁況不振 盛原丸(江名町)東經百五  
の廿五日の漁況に依ると

平窪兒童作品 石城  
郡平窪村小學校兒童作品展  
覽會は廿七日から三日間同  
校に開催父兄の參觀を歓迎  
すると

消防秋季檢閱 石城  
郡赤井、高久、飯野各村消  
防組では今廿七日各村小學  
校に於いて秋期消防檢閱を  
行つたので平署矢田部長が  
臨席したと

小説



(九十五)

渡邊 默禪 作  
布施平八郎 畫

【載轉禁】

謎の人 (5)

「財産差押へを喰つたんだろ、それなら知つて居るよ」

「あら、御存じですか……それなら御旦那様が……」

「脳で、卒倒したんだつてね」

「マア……」驚いた顔して

「何んといふお早い事です、千里眼ですね、奥様は……でも昨晚のこと丈はいくらなんでも御存じないでしよか」

「昨晚のことつてなかに」

「運轉手の木村が、お嬢さまを抱き込みにかゝつた事です、二人でもつて重役室に入つていろんな相談をしたのを私が外で、すつかりきいちやつたんです」

「へえ、木村が……」

「郁子の面にさつと一抹の雲が走つた。」

「どんな、相談をして」

「それは、大變なことなんですよ」

「蹲んだなりに前へ乗り出して」

「川島さんと奥さまと腹を合せて、十文字屋の財産横領をする企みをして居るつて、然ういう事を話合つて居ましたんですよ」

「えッ」

「えッ」

「えッ」

郁子は惘然と目の色を變へた。

お竹は婆さんの言つた通り口健な女であつた、他人が聞いたら小僧らしいと思ふほどの生意氣な口の聞き様をして、前夜自分が立聽

ね、傍からそんな水を差す奴があるから、あの子の僻みだん／＼強くなつて私に反抗しよう反抗しようと思ふやうに成るんだわ、まア何んて憎らしい爺だらうね、ほんとうに好かない奴ね」

「全くですわ、奥様、御家庭の平和を破壊する悪魔ですのよ、あいつは……何んとかしておやり遊ばせよ奥様の權威にかゝりますわ」

「いゝわ、私の考へがあるから……それでどうして、二人は、其後は……」

「すつかり相談が出来た様



兵部 重

きした自伍至什に餘な枝葉までも附加へてべら／＼喋舌つた。

それが可成り強い衝動となつて、郁子の美しい顔のすみずみに、毒汁を飲まされたやうな不愉快な表情が浮いた。

「餘計な悪智慧をつづる奴

に……運轉手な、か奥様、

下級筋肉労働者ですわね」「それから川島に、その話して聞かしたかい、お前から」

「いゝえ、川島さんは昨日の夕影近くから出た切り歸りませんの、多分何んでせう大塚のおかめさんとここにでも沈没して居るんでせうあの方も随分發展家だつてえますからねえ」

「よくお前、そんな事まで知つてるのね」

「そりや、貴女、奥様附の女探偵ですもの、それ位な事は手帳に載せてありますわ」

「なか／＼隅には置けないのね、それから竹、二人でストロブの中から探し出したといふ、その反古ッ紙はどうしたか知らない事」

「なかに西洋間が出来ました。3階は宴會のホールと日本間。2階は食堂は廣くなりました。1階は洋食茶會、洋食茶會、舊倍の御引立を偏に御願申ます

増田醫院  
平町南町一  
電話四八二番

安……賣  
市價半額  
船來生地メニスカス近眼玉  
優等品白生地栗山近眼玉  
新メニ玉ストロシ  
イロイロ 各一組 四十錢  
イロメガネ  
五令番と廿五番セル卷淵 三十五錢ヨリ  
クローム製淵 三十錢  
理想のメガネ正十八金セル卷 玉入 八圓四十錢  
大形絹天張眼鏡入サツク 十二錢  
精幸堂時計店  
平町  
向店車動自チクキ路小槌才

專門  
産婦人科  
花柳病科  
井坂醫院  
平町田町 電話五五九番  
吉田眼科病院  
平町屋町、電話六八八番

お醤油は……ヤマフル  
醬油味噌  
たひら 正宗  
鯉節 食料品  
鹽屋  
合名會社  
福島縣平町  
電話(營業部)一〇番  
(醸造工場)二七番

各種 實價を誇る  
運動服 器具裝  
大廉賣  
平町田町  
大運動具店  
電話七七番

うなぎ料理  
いよいようなぎの季節……  
御用命はせと江戸川へ——  
平館前通り 江戶川  
鰻料理專門 (電話六七七番)